

# 支部友会だより



日本山岳会東海支部

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部  
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8 OMC ビル

電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924

印刷 (有) アジマプリント名古屋市中区中味鈍 2-438

## 「No100 記念号 新年のご挨拶」



ハナコとカモシカの  
にらみ合い 猿投山

明けましておめでとうございます。

昨年の山岳遭難は警察庁に依ると夏山だけでも過去最多、年間でも史上最悪となるようです。

転倒・転落が 40%、道迷いが 23%です。従来は道迷いがトップでした。転倒・転落は明らかに体力不足が原因です。コロナ禍が起因していると思われませんが私達はこの 3 年で体力が減退している事は明らかです。体力増強にお勧めは好きな山に毎月同じコースを通うことです。

通う度に新たな発見があり四季を謳歌でき喜びが増しますが一番は歩行時間が短くなるのを知る事です。そんな時は体力が付いたかなと自信が湧き時間が掛かれば何故かと反省する機会を与えてくれます。私のそんな山は阿智村の御坂神社からの富士見台です。愛犬ハナコが元気な頃富士見台へは年に 10 回ほど何年か通いました。ブナ、ダケカンバの新緑の頃が一番好きな季節、次が雪山の頂上からの絶景、今でも直ぐに行きたいと思いますが昨年ハナコと行った時、途中で頑として歩かず引き返しました。彼女とはもう無理なようです。

話は変わりますが私は毎月友人と真面目に大須の老舗焼鳥屋〇〇〇に通っています。或時店にカメラマンとスタッフが居てライトに照らされながら食べたことがあります。暫くして古い友から電話があり「元気そうだね。今度名古屋に行ったら大須の〇〇〇連れて行ってよ」「えっどうして？」と聞けばある雑誌に嬉しそうに焼鳥を食べている私の写真が載っているとの事でした。

それから次々と懐かしい友人から電話、メールを頂きました。旧交を温めました。毎月通うとこういう効用もあるようです。

(支部友会委員長 金谷正起)

## 支部友会だより 100号に思う

支部友委員 尾上 昇

支部友会だよりが、今号で通算100号を迎えた。支部友会の発足から一貫して主体的に係わり合いを持ってきた私としては、感無量というほかない。

その支部友会だよりの1号は、1998年(平10)4月30日に刊行されている。支部友制度(支部友会)がスタートしたのが、1992年(平4)だから、6年経過した後だ。この間は、その都度山行計画の案内が、支部友会員の手に配布されていた。記念すべき1号の編集者は、当時の副委員長の水野和博さんで、4半期毎の年4回の刊行とした。ちなみに、記念すべき100号の編集担当は、田中進さんである。内容は、山行計画の案内、山行報告、催物や講習会の案内が主であり、基本的には今も変わっていない。ページを繰ってみると、発刊初期の14号までは、委員や支部友による自分の思いを綴った500文字程度のコーナーがある。リレーエッセーである。

現在はやっていないが、これなどは是非復活してもらいたいと思う。こうした企画は、支部友間の意思の疎通をはかる場として大変有意義であり、また、支部友会だよりへの親密度が増す効果があると思うからである。私も3号に「一人歩きのすすめ」と題して寄稿している。

この支部友会、200名を超える大所帯が結構長い間続いた。これは、登山教室が朝日のカルチャーセンターを皮切りに他の3団体からも教室主管の委託の要請があり、それに応じたこと、支部友に長く留まる人が増えたことによった。中には、15年以上も支部友として在籍、挙げ句の果てに東海支部の支部友会山行は、他のツアーと比較して安価で親切などという評判まで立つ始末。

これは、本末転倒で、暫く在籍してもらって支部に馴染んだら支部員(日本山岳会会員)に移してもらおうのが支部友制度の狙いの一つでも

あるからで、どこかのツアー会社との混同は、論外である。この事を踏まえて、10年程前に支部友会に新たなルールが設けられた。そのルールとは、在籍限度を3年までとし、以後は、支部員に移行してもらうか、もしくは退会してもらおうかの選択制度である。

このことにより、一時は30名を切る人数にまで減ったが、現在は60名を超し、この制度が定着している。また、このことによって支部友会だよりも廃刊の動きがあったが、これも元通りとなって今に継続刊行されている。

東海支部の支部友会制度は、東海支部特有のもので全国の日本山岳会の他支部には見当たらない。この支部友会、現在の東海支部の活性化の一翼を担っていることは、ばんにんの認めるどころであり、その貢献度は多大であると言える。今後も支部友会の益々の隆盛を望むところであり、それは取りも直さず支部友会だよりが150号、200号と継続刊行されることを意味するものである。

### <No1 支部友会だより>

1998年4月30日(木) No.1

- 発行/ (社) 日本山岳会東海支部友会
- 編集/ 尾上昇
- 印刷/ 尾上昇
- 発行所/ 尾上昇
- 発行部/ 尾上昇
- 発行部/ 尾上昇
- 発行部/ 尾上昇

目次

新しい山仲間を歓迎する  
中世古隆司……………1

支部友会の運営について  
尾上昇……………2

山行のご案内……………2、3

夏山山行……………3

支部友会例会……………4

登山技術講習会……………4

会務報告……………4

会員だより Part 1……………4

「スポーツ安全保険」  
「日山協山岳運搬共済」の募集について

支部員、支部友の皆様、上記の保険の申込を受けております。保険の種類についてご案内しますと、(1) (財) スポーツ安全協会愛知県支部が扱っています。「スポーツ安全保険」(2) (社) 日本山岳協会の「日山協山岳運搬共済」(3) 日本山岳協会の「特別共済」です。5月度の申込締め切りは5月末日に、団体加入の申込は6月1日に行う予定です。保険に加入していない方は、山行に参加できない場合もありますので、お早めに申込んで下さい。

尾上昇 (052-604-7448) 一男  
スポンサー安全保険 加藤 和子 (052-604-7801)

## 山行報告 令和5年9月～12月

### <夏山>9月10日(日)11日(月)☆☆

山城：北アルプス 山名：常念岳 (2,857m)

(往路) 金山市民会館 6:30→安曇野 IC9:50→

一ノ沢登山口第一駐車 10:20

(復路) 安曇野 IC17:20→金山市民会館 21:20

#### コースと所要時間

1日目 登山口第一駐車場 10:20→一ノ沢登山口・トイレ 10:50→大滝・昼食 12:45/13:00→胸突八丁 14:20～常念乗越 15:40～常念小屋 15:50  
歩行時間 4時間 45分

2日目 常念乗越(日の出) 5:00～朝食 5:30～小屋出発 6:15～常念岳山頂 7:55～常念小屋から下山 9:45～胸突八丁・昼食 11:20/11:40～大滝 13:45～一ノ沢登山口 15:25～一ノ沢駐車場 15:50  
歩行時間 6時間

CL・会計 近藤 政仁 感想 芝山 美智子  
記録・感想 大蔵 和代 内藤 晴義



(参加者の感想)

・まもなく小屋に着くという頃にポツリポツリと雨が降り出したが、雨具を出すこともなく、小屋入りしたものの、その後は真っ白の世界。早々に就寝。翌朝は雲が多いながらも、雲と雲の隙間から朝日が見られた。時間とともに雲が切れ、待望の槍が顔を出してくれた。朝食を済ませて山頂アタック。山頂に着いたら、想像以上の最高の景色が待っていた。槍、穂高、富士山揃いました。おまけにブロッケンまで現れてくれて、下山途中では、遠くて写真には納められなかったけど、雷鳥を見ることができた。感動続きの夏山山行でした。

(芝山 美智子)

・一の沢登山口より常念小屋を目指し曇空の中、出発でした。長い樹林帯を抜け、岩場や階段、急登を登り小屋に到着。ガスで景色は見え、翌朝に期待しながら、早々に就寝しました。日の出時にはなんとか、雲の切れ間から、槍も見れ、小屋からの北アルプスも素敵でした。何よりも常念岳山頂の360度のパノラマの絶景にはテンション上がりました。富士山もはっきり、ブロッケン現象まで見れて更に、テンション上がりました。下山時には遠くでしたが、雷鳥まで見れ本当に感動続きでした。お天気予報では曇りだったのであま

り期待してなかった分感動が倍増した山行でした。

(大蔵 和代)

・今回の山行では曇り空で、ふもとの安曇野からは北アルプスの名峰と言われる山容は見ることはできなかったが、頂上からみる眺望を期待しつつ、うっそうとした樹林帯を歩き始めた。途中、下山者から「富士山が見ることができた。ブロッケン現象見えた。槍ヶ岳が見えた。」との情報から益々期待感が高まった。大滝ベンチからは、比較的緩やかな木の階段、ガレ場の坂が続き胸突八丁からは木々が低くなり森林限界が近くなって、急登を登りきり常念小屋に到着。朝食時には食堂の窓からは槍ヶ岳がハッキリ見ることができた。皆、期待が高まっているようだ。岩場の登山道を登り続け常念岳山頂へ到着すると、山頂では遮るもののない360度のビューの絶景。槍ヶ岳をはじめとする北アルプスの山々、富士山までハッキリ見ることができた。堪能していると霧が出てきてブロッケン現象まで見ることができた、さらに下山時には遠くではあったが雷鳥まで見ることができた。大天井岳、蝶ヶ岳までの稜線をみると絶景を見ながらの稜線歩きを楽しみたいと思った。

(内藤 晴義)



#### <リーダーコメント>

山行は台風13号の通過がどうなるか？林道や登山道のがけ崩れはないか？心配は天気予報と山小屋への問合せで解消。また当初計画より集合時間を30分早めました、皆さんの協力で概ね予定通り登山口に到着。一日目は曇り空ですすはどうかと思われた。しかし、二日目は日の出がきれいに見えなかったが、山頂からは槍ヶ岳と富士山を遠望、槍ヶ岳のモルゲンロート、ブロッケン現象を体験し、雷鳥も眺めて最高でした。

.....

#### 9月10日(日)☆☆

山城：野坂山地 山名：岩籠山 (765m)

(往路) 金山 6:45→東別院入口→名神高速道路米原 JC→北陸自動車道→賤ヶ岳 SA 休憩 7:50→敦賀 IC8:20→駄口登山口 8:40 (復路) 駄口登山口 14:15→北国グランドホテル入浴 14:30/15:30→敦賀 IC→千種駅 17:40

#### コースと所要時間

駄口登山口 8:55～インディアン高原 11:20～岩籠

山頂 11:30～駄口登山口 14:00

参加者 (4名) CL 今津 英一朗 SL 池戸 美恵  
会計 : 花田 玲子 報告 : 五島 健一



(参加者の感想)

・山行初参加、楽しかったです。岩籠山の頂上からは敦賀湾が見え、インディアン高原のススキと奇岩も素敵でした。道中のきこ歓談、ヒルヤ、ハチなどの害虫の話、各地の銘菓の話などお喋りも楽しかったです。(花田 玲子)

・集合場所到着時、リーダーよりお声がけ頂き助かりました。登山口にてリーダー指示の下、準備運動。その後、リーダーと池戸さんから地図とコンパスの使用方法をレクチャー頂き、登山開始。非常に暑い中、適宜休息を入れていただきながらまた、時折、花や景色を楽しみながら頂上へ。頂上からの景色は爽快でした。午後からの天候に留意しつつ、リーダーから時折注意喚起のアドバイスを頂きつつ無事登山口に到着。とても楽しくまた、勉強になる山行でした。(五島 健一)



<リーダーコメント>

午後の天気が微妙でしたが、心配をよそに天気が良かったです。つまりは暑すぎで登りのペースが上がらず、苦しみました。途中のお花、景色が心を和ませてくれました。今回は、支部友山行が初めてのメンバーばかりで少し心配しましたが、心配をよそに、お二人とも体力十分で安心しました。逆に体力が衰えていたのは自分だと思いました。夏の暑い時期の登山について、対策を考える良い機会となりました。今後も支部友会の山行に参加いただき、楽しんでいただきたいと思います。

.....

<夏山>9月14日(木)～16日(土) ☆☆

山域 : 北八ヶ岳 山名 : 硫黄岳 (2,760m) ・根石岳 (2,603m) ・天狗岳 (2,646m) ・丸山 (2,330m) ・茶臼山 (2,384m) ・縞枯山 (2,403m)

(往路) JR 名古屋駅 7:00 発中央本線 特急しな

の1号→千種駅 7:06→JR 塩尻駅 8:57 乗り換え  
9:00→JR 茅野駅 9:28 タクシー移動・駅東口 9:35  
→桜平駐車場 10:22

(復路) 北八ヶ岳ロープウェイ山麓駅(タクシー) 13:55  
→入浴 14:20/15:20→茅野駅 15:30/16:30→塩尻  
駅乗り換え 17:03 特急しなの→千種駅 18:56→名古屋  
駅 19:07

コースと所要時間

1日目 桜平駐車場 10:30～桜平登山口 10:45～  
沢鉢泉 11:18～オーレン小屋 12:25/13:10 宿泊手  
続き昼食～夏沢峠 13:45～硫黄岳 14:50～ 夏沢  
峠 15:57～オーレン小屋 16:30

歩行時間 4時間42分

2日目 オーレン小屋 6:50～箕冠山 7:53～根石  
岳 8:15～東天狗岳 9:10 西天狗岳ヘピストン 9:58  
～中山峠 11:25～黒百合ヒュッテ 1:33/12:10 昼  
食～中山峠 12:15～中山 12:52 ～高見石小屋  
14:00 (宿泊) 歩行時間 6時間15分

3日目 高見石小屋 6:53～丸山 7:18～麦草峠  
8:35～大石峠 9:05～茶臼山展望台 10:10/10:45～  
鞍部分岐 11:02～縞枯展望台 11:30～縞枯山  
12:00～雨池峠 12:43～山頂駅 13:00

歩行時間 5時間

参加者 (6名)

CL 奥野 明美 SL 荒川 章子 記録 : 佐橋 章嘉  
会計 : 高橋 弘美 報告 : 谷畑 宏子  
AD : 岩間 洋子



(参加者の感想)

・苔むした樹林の中を歩く北八ヶ岳縦走は最高の山行でした。改めて北八ヶ岳の素晴らしさを認識しました。美味しいものも頂き、久しぶりに懐かしい方たちともご一緒でき、新しい仲間とも出会い、心地よい空間に楽しい時間を持つことができました。皆様に感謝です。特に奥野リーダーの数々のご配慮には大感謝です。(岩間 洋子)

・山行ポイントにあげられている、北八ヶ岳を南から北へ苔戸樹林帯のコースを縦走、苔と岩の景色と小屋泊りを楽しむということすべて満喫できた3日間でした。山行中ガスっていたのに硫黄岳についたら晴れたり、夜満天の星を見たり、天狗の岩の道を歩きドキドキしたり、苔と岩のアップダウンの道のあとに茶臼山からの展望に感激したり、高見石小屋で先頭の二人のおかげで食

べられたアゲパン、山小屋とは思えない食事、ランプの灯り、みんなで笑った大貧民ゲームなどなど汗をかいて登った苦しさより楽しいことばかり思い出されます。(高橋 弘美)

・桜平登山口からの登りは、八ヶ岳らしい苔の美しい道を楽しみ、オーレン小屋に着いた頃には雲が多く、期待せぬまま硫黄岳に登頂すると雲が晴れ赤岳、阿弥陀岳と明日の天狗岳への稜線が見えみんな笑顔の集合写真が撮れました。夜オーレン小屋から見た星も綺麗でした。2日目の天狗岳はガスでしたが宿泊先の高見石小屋の食事と名物揚げパンは最高でした。3日目もややつらい登りの茶臼山に着く頃には、赤岳から南アルプスも見れて天気にも恵まれました。3日間通してゆったりとした行程で北八ヶ岳の苔や岩、池、縞枯、特徴のある素敵な山小屋を楽しむことができ北八ヶ岳の良さを満喫できた山行となりました。



(佐橋 章嘉)

<リーダーコメント>

7月上旬に足首を捻挫して、2ヶ月以上経過しても完治しない状態での縦走山行に不安でしたが、みなさんのご協力により無事終わることができました。ありがとうございます。高見石小屋での星空観測を期待し新月を選んで日程を決めたのですが、夕方から雷を伴う大雨となり残念でしたが、前日オーレン小屋で天の川を見ることができたのでよしとしてください。八ヶ岳は登山口がたくさんありどの小屋も特徴があって楽しめると思っていますので、季節やコースを変えて歩いてみて下さい。

.....

9月23日(土)☆☆

山城・山名：伊那谷・守屋山(1651m)

(往路)金山市民会館南通路 6:50→東別院入口→小黒川IC→守屋山登山口 P10:00(復路)駐車場 15:06→入浴→小黒川SI→金山市民会館 19:02

コースと所要時間

立石登山口 10:18～古屋敷登山口 10:30～鳥居 10:40/12:03 守屋山東峰 12:03/12:27 守屋山(西峰) 12:27/13:05～守屋山東峰 13:25～一休平 13:58～百畳岩 14:23～立石登山口 14:55

歩行時間 3時間44分

参加者(4名) CL 高松 信治 SL 体操：荒川 章子 会計：芝山 美智子 記録：大蔵 和代

(参加者の感想)

・先頭を15分毎に交代しながらゆっくりと歩きました。一定のスピードで急登を登るのは難しく、歩幅を狭くし注意して歩く必要があると思いました。頂上で山座同定ができなかったのは残念でしたが、美しい諏訪湖を見ることができました。トリカブトの花が花束のように咲いているのも美しかったです。時々吹く風に秋の気配を感じる素敵な山行となりました。(荒川 章子)

・信州百名山山頂からの大パノラマ日本名山の33座が見られると言われる守屋山。大きな期待を抱いていざスタート。守屋神社からのルートは西峰と東峰の分岐までは登り一辺倒。リーダーに最後尾について貰い、残り3人交代で、先頭を歩いた。私はソロ登山が多く、後ろを歩く人の様子を見ながら先頭を歩くという経験が少ないので、大股になってしまったり、早足になってしまったりと足並みを揃えるのに戸惑ってしまった。しかし何度目かの先頭歩きでは、後ろの人を心配りしながら、テンポ良く歩けるようになった。何事も経験と学習が大切と痛感した。山頂では、雲が出ていて、33座は見られなかったけど、諏訪湖が綺麗に見えて感動した。守屋山は花の山としても知られているそうで、季節を変えて何度も登りたい山になった。(芝山 美智子)



・登山口から登り始め、結構な急登続きでした。山頂は360度眺望で、日本百名山の33座を見渡すことができるのですが雲に隠れてしまっていました。諏訪湖の景色は最高でした。今回はゆっくりなペースで登ることを学びました。そのおかげで疲労感があまりありませんでした。

(大蔵 和代)

<リーダーコメント>

風越山は南アルプス最北の山であり、名古屋を7時前に出ても茅野の現地駐車場着が10時過ぎとなりましたが、標高差自体は大きくなく2ピッチ程度で山頂付近の稜線に到着できました。稜線付近ではトリカブトが目を楽しませてくれ、山頂にはきれいな避難小屋(ラビットハウス)があるなど地元によりよく整備がされています。あいにくの曇り空で周辺の山々の山頂付近には雲がかっており山座同定はできなかったのですが、地元登山者から雲を指さしながら「ここに八ヶ岳が

見えるが今日は残念。天気の良いときに当方としては諏訪湖周辺の眺望がすばらしく結構満足でした。下りの立石登山道は急こう配の下りや、浅間の滝(今回は枯れていた)、大岩などがあり、変化に富んだ登山道で、駐車場にまっすぐ降りられました。守屋山は、また登りたいと思ういい山でした。お陰様で参加者の足がそろいケガなどトラブルもなく無事に登山を終えることができ感謝しています。

9月30日(土)☆

山城：奥三河 山名：寧比曾岳(1,120m)

筈ヶ岳(985m)

(往路) 金山 7:00→猿投グリーンロード力石 IC 8:10→足助町 8:40→大多賀峠 9:00

(復路) 駐車場 16:20→白鷺の湯 16:40/17:10→力石 IC→金山 19:10

コースと所要時間

大多賀峠登山口 9:10～分岐 10:00～寧比曾岳 10:30～林道分岐 11:20～筈ヶ岳・昼食 12:10/12:40～トリカブト群落地 14:20～寧比曾岳休憩東屋 14:40～亀の甲岩 16:10～登山口駐車場 16:20

歩行時間 6時間

参加者(12名) CL 田中進 SL 川崎 禎明  
SL 石田 猛 会計：島田 逸子 大野 正呼  
記録：中野 徳子 安田 秀則 五島 健一  
中山 静雄 山田 誠一 嶋出 梓 加藤 博之



(参加者の感想)

・これだけ大人数での登山は初めてですが、リーダーを始め諸先輩方から沢山の経験談をお聞きでき大変勉強になりました。(五島 健一)

・初めての寧比曾岳山行でしたが脚の痛みを発生しパーティにご迷惑をお掛けする事になりました。皆さまのご協力や励まして、無事に下山し、温泉を楽しむ事ができました。体調を考慮し今後も登山を楽しみたいと思います。(大野 正呼)・寧比曾岳・筈ヶ岳ともに初めて登る山でした。登山口で気温が25℃を超えており、暑さ対策が必要かと思われましたが、寧比曾岳までは檜などの植林に陽射しが遮られ思ったより涼しく歩けました。寧比曾岳山頂は猪の仕業かまるで畑のようになっていたのが印象的でした。筈ヶ岳までは人もおらず広葉樹林帯の気持ち良い道でアカマツの

巨木が目立ったのとトリカブトが綺麗に咲き、アサギマダラが涼気に飛来していたのが秋を感じさせました。(中野 徳子)

・初めての寧比曾岳でしたが、とても歩きやすい道でした。普段は通り過ぎていく景色のひとつである木や花の名前を教えて貰い、山歩きの新しい楽しさを発見できました。センブリは初めて見ましたが、覚えられた気がします。皆さんに優しくしていただき、本当に感謝しています。(嶋出 梓)



・私は今年の6月に支部友会へ加入し、今回が初の山行でした。まず、事前に山行計画書が配布されたことが大変ありがたかったです。計画書にはルート情報や必要な装備、持参すべき物品などが記載されており、素人の私には大変役立ち、おかげで、山行前に備えを十分に整えることができ、安心して参加することができました。山行当日は、支部員指導者4名と体験者7名での登山でしたが、現地に着してから、登山地図の見方とコンパスの使い方を教わり大変参考になりました。これからは、登山地図とコンパス片手に登山してみようと思います。今回の登山は景色の美しさと言うよりも、多くの仲間たちと楽しく山登りができ、心身のリフレッシュができたように思います。支部友は3年までとのことなので、それまでに、楽しい山行を沢山体験できればと思っています。(山田 誠一)

<リーダーコメント>

登山口標高は800mの高所、登り始めからきれいに間伐されたひのき植林の中を歩き、しばらくして杉林に代わり樹林帯で太陽が遮られ涼しい絶好の登山日和でした。標高差300メートルと初心者向きの1時間半の山歩きで寧比曾岳到着。頂上から筈ヶ岳は標高差100m下りの楽な尾根歩きです。初心者には体験登山として方位磁石の扱い方地図の見方を説明し、登山のアドバイスしながらゆっくり歩き、元来た道を引き返し寧比曾岳の東屋からは南アルプスと富士山が望めました。右ひざの痛みが出た一人のペースに合わせてゆっくり下山し、予定していた百年草の湯は4時までに間に合わず、足助の白鷺温泉白鷺館に行きました。土曜日なのに受付に従業員が居なく張り紙

に「一人千円をここに置いて石を載せて下さい」。館内に電気が付いてなく暗い中を風呂場まで手探り状態やっと入浴出来ました。経験した事無い入浴と体験登山を楽しみました。

10月1日(日) ☆

山城：三河高原 山名：物見山

(往路) 東山公園 7:25→海上の森駐車場 8:05 コースの説明 (復路) 海上の森駐車場 16:30→東山公園 16:55

コースと所要時間

海上の森駐車場 9:02～四つ沢 9:12～三角点 9:25～五叉路 9:52～分岐 11:02～物見山 11:20 昼食 12:00～三条峠 12:44～ゲート 14:40～里山サテライト 15:10～海上の森 15:58

歩行時間 4時間 41分

参加者(8名) CL 金谷 正起 SL 奥野 明美

記録：中野 徳子 記録：杉浦 いずみ 感想：

杉浦 充代 花田 玲子 五島 健一 花田 彰紀

(参加者の感想)

・前回の4月8日に続いて2回目の参加となりました。今回こそは赤猿峠に辿り着きたいと思っていましたが、降雨による出発遅れの影響もあり、鉄塔から下山となりました。前回はコンパスの使い方ではいっばいでしたが、今回は所要時間の計算までできるようになり、少しだけ進歩できたかなと思っています。まだ地形を想像するレベルに達しないので今後の課題としたいと思います。山中で誰とも会わない贅沢な読図勉強会でした。

(中野 徳子)



・地図読みの物見山山行とても勉強になりました。丁寧に地図の読み方、コンパスの使い方を教えて頂きました。コンパスを使って地図を見ながら歩いていると分岐を見逃しがちになり。また地図から自分が歩いている地点もまだまだ読めなく。地図読みは難しいですね。その難しさも経験豊かなCL SLがいることで安心して歩け充実し経験ができました。今回学んだことを次の山行に繋げていきたいと思っています。

(杉浦 充代)

・地図読み学習は大変参考になり、普段のスマホ頼りの登山よりも楽しみの幅が広がりました。是非別のもも実施して頂けたらと思います。ありがとうございました。

(五島 健一)

・物見山山行、地図読み初参加、送っていただいた下準備の確認が直近になってしまい、準備不足となってしまったこと反省材料です。しかしながら、友人との山行では考えたことが無かった、磁力線の記入してある地図と、コンパスが指す実際の北方位を合わせて現在地から目的地の方位を決定させる方法を体で学べた事と、参加者との他愛もない会話、リーダーとサブリーダーの体験話が楽しく、ためになりました。山座同定も出来そうです。この経験が基礎知識となり、安全に山行を行う一歩となると思います。(花田 玲子)



・これまでに個人的な登山経験はありましたが、コンパスを使っての地図読みをしたことがなく、道迷い等のいざという時の対応に不安があったため、今回の山行はとても勉強になりました。物見山付近は個人的に何度か歩いたこともありましたが、道なき道に行くのは初めてで、山行の魅力を一段と感ずることができました。また、リーダーの金谷さんにはコンパスの使い方の基礎から丁寧に教えていただき、支部友会の山行初参加の自分にとって心強かったです。一緒に参加された方々も明るくて気さくな方々ばかりで、よもやま話をしながら楽しく歩かせていただきました。また、支部友会の山行に参加させていただけたら幸いです。(花田 彰紀)

<リーダーコメント>

遭難事故の一番は道迷いです。対策は現在地を確認しながら歩くことです。低山は道が多く道断禁物。皆さん何回もコンパス合わせをしましたから目的地に方向を合わせることはほぼ習得出来たのではないのでしょうか。この山城は尾根と谷が入り乱れて解りにくい地形でしたから歩きながら現在地を把握するのは難しかったです。しかし全員飲み込み早く読図センス秀逸と感じました。簡単な山でも地図とコンパスを使う山行に慣れて下さい。

10月21日(土) ☆

山城：御在所山城 山名：雨乞岳(1238m)

コースと所要時間

金山 6:30→武平峠登山口 8:05～沢谷乗越

9:11～クラ谷出合 9:30～七人山のコル七人山  
 10:56～東雨乞岳 11:24～雨乞岳 11:44→東雨乞岳  
 12:02～七人山のコル 12:30 (昼食)～沢谷乗越  
 14:23～武平峠登山口 15:23～武平峠駐車場  
 15:37 →希望荘入浴 16:00/17:10 → 金山 18:30



参加者 (5名) CL倉橋 智司 SL荒川 章子  
 会計：島川 桂子 記録/写真：芝山 美智子 報告  
 /体操：古野 敏彦

(参加者の感想)

・参加者全員が無事安全に下山できたのが何よりですが、ひとえに山行中、メンバーの状態を見ながら、細心の指導をいただきましたリーダーのおかげです。登り始めから曇り、稜線に出からは強風と雨で、山頂からの眺望は残念ながら叶わず、山道の状態も良くなかったですが、危険箇所をメンバー間で逐次声を出し共有することで、安全登山ができたと思います。(古野 敏彦)

・山頂からの眺望を期待しての山行だったのですが残念ながら叶いませんでした。ルートは谷沿いの狭いトラバース、渡渉の繰り返し、熊笹に覆われた尾根道と変化に富んでいました。尾根道の両側から覆いかぶさる熊笹はとても重く進行を妨げ、体力を消耗しました。途中ルート脇に供花があり死に至る危険がすぐ近くにあることを感じました。無事下山できたことに感謝します。

(荒川 章子)



・昨夜からの雨はあがり、いい天気を期待していたものの、不穏な雲が広がり、ポツポツ雨も降り出してきた。樹林帯の狭い道のトラバースや何度も渡渉を繰り返したりと常に緊張感溢れる山行でしたが、みんなで声を掛け合い危険を回避して無事下山しました。山頂の360度のパノラマやワイワイランチは叶いませんでしたが、いい条件ではない山行の自信が持てたのは大収穫でした。

(芝山 美智子)

・晴れが期待できる予報で360°のビューを楽しみにしていましたが、上るごとに風が強くなり、東雨乞岳では煽られるほどの強風。寒さはそれほどでもなかったので助かりましたが、昨今低体温症で山で亡くなる件も多々あり、秋登山の装備についても、また狭いトラバース・ぬかるみ・渡渉の歩き方など安全な登山について再認識でき勉強になる山行でした。(島川 桂子)

<リーダーコメント>

登山口から沢谷迄の狭い道のトラバース、七人山迄の谷筋の道、東雨乞岳迄の熊笹の急登、東雨乞岳頂上の強風と、変化に富む登山道で夫々神経を使う山行だった。加えて、時折小雨の中の山行となり、悪条件が重なった。トラバースでは今年死亡事故もあり、今回の山行で一番神経を使う箇所、最初からストックを使いバランスを取りながら進んだ。谷筋では何度か渡渉があり、転倒を避ける為、無理せず水の浅瀬を歩行した。東雨乞岳は強風の為、写真撮影のみで早々に頂上へ登り、ここも写真のみとして、昼食は雨を避け七人山分岐の樹林帯で取る事とした。復路は往路と同じ道を通ったが、往路にあったマーキングが見つけない箇所があり、雨乞岳が道迷いの多い山という事が実感された。今回、無事下山できたのはメンバー同士が協力しリスクを回避できた事が大きかったと思う。

.....

## 10月28日(土) ☆

山城・奈良・葛城山系 山名・**金剛山 (1,125m)**

(往路) 金山 6:50→東名阪・西名阪 8:10→

南阪奈道路・葛城IC 9:00→百ヶ辻P

(復路) 百ヶ辻駐車場 15:20→入湯 16:40/17:10

→名阪道路→金山 19:10

## コースと所要時間

百ヶ辻駐車場 10:40～寺谷ルート登山口 11:00

～金剛山山頂広場・昼食 12:13/13:12～葛城神社

13:20～細尾谷ルート登山口 14:13～

駐車場 14:30

歩行時間 3時間 10分

参加者 (11名) CL 田中 進 SL 川崎 禎明

SL・体操 石田 猛 会計：川崎 明子

記録：谷畑 宏子 神戸 志摩 清水 ゆかり

高橋 弘美 吉村 純 安田 秀則 五島 健一

(参加者の感想)

・地元の吉村さんのガイドで始まった今回の山行。地図に載っていない沢沿いのルート歩きでしたが多くの人たちとのすれ違いや案内板もしっかりあってとても楽しい山歩きでした。途中、みんなで現地の確認をし現地の観察や山頂では綺麗な黄葉を見る事ができ、みんなでライブカメラに映るため待機したり、リーダーのお知り合いの



方の回数登山の案内板も見ました。下山では視界が開けたところで奈良市内を一望でき、名もなき滝にリーダーから「みんなで名前を考えて」と疲れている私たちに無茶振りされたりと、とても楽しい1日でした。吉村さんコース案内ありがとうございました。(清水 ゆかり)



・金剛山は非常に人気のある山らしく、登山者の人数は私が経験した中で一番でした。限られた山行時間の中で吉村さんが適切な登山ルートを選択頂き、とても楽しく登山が出来ました。様々な登山ルートがあるとのことですので、機会がありましたらまた、チャレンジしたいです。

(五島 健一)

・初めての奈良県の山、行きの車中で頂上にライブカメラがあることを知りそれも楽しみで登りました。奈良在住の吉村さんの案内で、往路復路共谷コースで沢の音、滝を沢山眺めながらのルートでした。色づき始めた紅葉、葛城神社、ライブカメラのある山頂等々見どころ楽しみどころ満載でした。しかしルートも多くテープが一つもなく道迷いしやすい山でもあったと感じました。

(高橋 弘美)

・関西の人気のお山、金剛山を企画して下さり、愛知の方々をアテンドさせて頂きました。登山道は基本的に樹林帯の為、歩きながらも楽しめるように百ヶ辻から寺谷と細尾谷ルートを選択。山頂ではライブカメラにも写ることができ、賑やかなハイキングとなりました。お疲れ様でした！

(吉村 純)



#### <リーダーコメント>

関西で一番人気の山で大阪側の百ヶ辻駐車場は整備され観光バスも駐車可能な広さでした。登山口標高は600mの高所、寺谷コースは沢に

沿った樹林帯で太陽が遮られ涼しい絶好の登山日和でした。標高差500メートルとハイキングコースで日曜日なので家族ずれで一杯でした。頂上では売店食堂そして200回以上から登頂者の名札が張り出してありました。私の友人も600回達成の山男です。ちなみに1万回以上の人もいました。下りは細尾谷コースを取り途中の数か所の滝を見ながらゆっくり下山しました。地元柏原市の吉村さんの案内で「かもきみの湯」は大きな人気のスーパーセントでゆったりできました。皆さん里山ハイキングと楽しい入浴に満足されたでしょうか。

#### 10月29日(日) ☆☆

山域:鈴鹿山系 山名:御在所岳(1212m)

(往路)名鉄バスセンター7:55→ロープウェイ湯ノ山温泉駅 9:10 (復路)ロープウェイ湯ノ山温泉駅 15:16 →近鉄名古屋 17:00

#### コースと所要時間

湯ノ山温泉駅 9:20～中道登山口 9:55～キレット 10:55～頂上山公園 12:10 / 12:38～一の谷新道入口 12:58～一の谷山荘 14:25～中道登山口 14:34 ～ロープウェイ湯ノ山温泉駅 14:57

歩行時間 5時間

参加者(5名) CL磯部 隆 写真:岡 直人  
記録:黒石 真弓 感想:山田 誠一 竹本 美香



#### (参加者の感想)

磯部リーダーの山行は何度か参加させて頂いています。きっと今回も急登あり、健脚メンバー揃いだらうと覚悟はして臨みました。上りの中道登山道も結構なペースでした。すれ違い交差待ちで、所々小休憩が取れほっとしていたのは私だけだと思います。下山の一の谷新道は予想どおり急登の連続で、膝が最後までもつのか心配でしたが、何とか降りる事ができました。何よりリーダー、他メンバーさんに恵まれて、最高の秋晴れ山行に感謝します。(竹本 美香)

・難易度の☆マークが2つだったので、山行申し込みを躊躇しましたが、一度は登って見たかった御在所岳、意を決して申し込むことにしました。前日には「山頂は紅葉が始まったと」の情報がテレビで流れており、ベストタイミングで企画して

くださったことに感謝！当日は快晴。気候も良く、まさに山行日和で、上りの中道では岩場のキレット、下りの一ノ谷新道では急勾配を体験することができました。上りのキレットは混雑時、30分程度の待ち行列ができると聞いて少しビックリ岩場のシングルトラックで、上りと下りが行き交う場所なので仕方ないですね。登山途中で体を冷やさないための対策も必要かなと感じました。下りの一ノ谷新道は、木の根を避けながら、急勾配に加え、道なき道を下る感覚がとても新鮮で楽しかった。もう少し体力をつけ一度は、一ノ谷新道の上りにチャレンジしたいと思います。

(山田 誠一)



<リーダーコメント>

久しぶりの中道、であったが、紅葉少し前なのに登山者で、かなり混雑していた。登りの中は、女性2人に、交互に先頭をやってもらい、下りの一ノ谷新道は、男性二人にお願いした。今回の目玉は、このマイナーな、一ノ谷新道の、短いコースながらも、ガレ場も多く、急で、うっかりしているとルートも見失いかねない山道をどのように歩くか、であった。結論から言えば、皆さん、特に先頭を担当した、男性2人は、見事な歩き方であった。歩くスピードといい、ルーファの判断力といい、素晴らしかった。とても、お二人とも、御在所は、初めてとは、思えなかった。女性たちからも、このコースは、面白いと予想外の感想を聞いて驚きながらも、ホッとした。

.....

**11月9日(木) ☆ 山城：御油**  
**山名：京ヶ峯(441m) 音羽富士(380m.)**  
 (往路) 金山 7:30→東別院→名古屋南 JCT→豊田東 JCT→岡崎東 IC→赤坂町松本→岡崎市ホテル学校 8:58→中貝津登山口駐車場 9:13  
 (復路) 登山口駐車場 13:58→岡崎市ホテル学校 14:03/14:27→岡崎東 IC→金山 15:27 解散  
**コースと所要時間**  
 中貝津登山口 9:20～愛宕山 9:53～京ヶ峯 10:15  
 ～七曲峠 10:42 動物山 11:12～ホド田山

11:48/12:22(昼食)～音羽富士 12:57～古坂峠  
 13:28～古坂峠登山口 13:41～中貝津登山口  
 13:54 歩行時間 3時間20分  
 参加者(11名) **CL**尾上 昇 **SL**田中 進  
 写真：川崎 禎明 会計：川崎 明子 記録：  
 奥野 明美 体操：石田 猛 感想：澤田 恵里  
 竹本 美香 清水 ゆか 安田秀則 佐藤 千景



(参加者の感想)

・天気が今ひとつはっきりしない朝だったがまずは雨にならなければと集合地に向かった。多少の車の渋滞はあったが目的地に着いた。山深く限界集落の佇まいだが空気も清々しい。尾上さんの案内で登山開始。のっけからホントに健脚で彼の辞書には年齢はないと感じた。予定より早く下山し、鳥川小学校跡地のホテルの学校を見学した。地元の方々の地道な活動でキレイな川を保つための森林管理を行い、ホテルを育成しているなど陰ながら応援したいと思った。今回たまたまバースデー登山となり「なにがめでたい」年齢だが帰り際に頂いた羊羹が美味しかった。(佐藤 千景)

・9時20分頃から上り、下山は14時頃で、頃合いの良い山行で、リーダーの尾上さんの、年齢を感じないリードにも感激しました。上り始めから愛宕山、京ヶ峰、七曲峠、動物山、ホド田山、音羽富士と、低山ながら約30分毎に変化・アクセントがある山で、それほどのアップダウンがあるわけではなく、加えて木の手入れにより、より一層明るい山道でした。帰りのホテルの学校も勉強になりました。聞きますに、この山城を一周することも可能と、その折にまた参加したい山城でした。(安田 秀則)

・京ヶ峰、愛宕山、ホテル学校は以前に国道1号線沿いの藤川宿で目にした事があり、現地集合の登山ツアーの企画もあったのでどんな所か興味はありました。そこには、ほたるが生息できる程きれいな水が豊富にある環境、柔らかな味わいの湧水、自然豊かな里山、ザ日本の原風景が広がっていました。地元の子供達が名前を付けた峠や小さなピークが沢山あり、登って下って夏以外は四季も楽しめ、トレーニングにも

最適コースでした。もう一つコースがあるので冬にも行ってみようとします。(竹本 美香)

・岡崎市のほたる学校から始まった今回の山行。京ヶ峰と音羽富士は里山の低山でしたが適度なアップダウンがあり登山道も地元の方が整備をされていてとても歩きやすい道でした。どこの里山とも言える事ですがある程度、人の手が入らないと山自体が荒れていきますが、ここは伐採もされていて当日もチェーンソーの音が鳴り響いていました。今回歩いたほたるの里の山歩きは1/3しか歩いていないので残りも歩いてみたい里山の一つになりました。(清水 ゆかり)

<サブリーダーコメント>

支部友山行は土日が多く平日を希望する聲に答えて木曜日山行でした。登山口標高は160m、登山道の両側は奇麗に間伐された檜が多い樹林帯で明るく涼しい絶好の登山道でした。標高差280m。ハイキングコースのような楽な登りで、又、平日なので登山客はまばらでした。三河湾を見ながら楽しい昼食を取り、紅葉には早かったが檜の黄色い落ち葉が登山道を埋め尽くし黄色の絨毯の上を歩いているようで気持ちよかったです。廃校になった小学校がホテル学校でトイレを借り館内を見学しました。6月蛍の季節にホテルを見に来たいです。

.....

### 11月11日(土)☆☆

山城：高蔵寺 山名：春日井三山～池田富士  
(往路)各自の最寄り駅→JR中央本線 定光寺駅  
7:29着(復路)JR中央本線 古虎溪駅 15:50→各自の最寄り駅

#### コースと所要時間

定光寺駅 7:40～東海自然歩道入口 7:45～玉野御嶽神社 8:00～車道出会 9:00～三角点 9:22～林道出合 9:52～桧峠 10:07～三角点 10:30～道樹山 11:12/11:36～コル 10:46～大谷山 10:49～弥勒山 11:16/11:34～カフェモンタナ 12:27/13:27～登山口 13:43～展望所 13:50～池田富士 14:10～南東登山口 14:43～古虎溪駅 15:45

行動時間 5時間54分

参加者(7名)

CL 池戸 美恵 SL 磯部 隆 記録：高橋 弘美  
写真：島川 桂子 報告：谷畑 宏子 感想：  
塚原 恵美子・芝山 美智子

(参加者の感想)

・高蔵寺ニュータウンの東部に位置し、パノラマミックなミニ縦走が楽しめる里山、春日井三山を歩いてきました。地元の方々がのんびりゆったり楽しめる里山と勝手に想像していましたが、アップダウンが続き、また方角が変わる箇所もあり、気を抜けないと感じました。先頭を

順番に変わり、ポイントチェックやコンパスを使い、行く方向を定めるなど、身になることがたくさんあった山行でした。弥勒山からの御嶽山や恵那山の絶景には感動しました。

(芝山 美智子)



・春日井の三つの山、ランチ、池田富士と贅沢な盛りだくさんの楽しい山行でした。ピーク、コルを確認して登ったり、下ったりと地図を確認しながら進みました。最後の弥勒山を下った後、お楽しみのカフェを目指してのルートファインディングもドキドキしながら無事に目的地の到着することができ、充実した山行でした。リーダーからチェックポイント、地形の特徴などわかりやすく説明して頂き、勉強になりました。広い尾根でのコル、隠れピークなどは地図に表示されないの、チェックポイントのピーク、コルかどうかの判断が難しいことを改めて確認する事もできました。(塚原 恵美子)



<リーダーコメント>

今回、支部友会山行で初めてリーダーを務めさせていただきました。定光寺から弥勒山までは歩きやすい東海自然歩道です。ややもすると何気なく歩き進めてしまっていますが、参加の皆さんに楽しく地形や地図読みを学んでいただけるよう、予め15のチェックポイントを設定して、先頭交代で、少し緊張感を持って、歩いていただきました。一番難しいP352から先の登山道の無い部分は尾根の分岐に注意して、コンパスを頼りに歩きました。先頭の磯部さんが、出だしの分岐以外は見事なナビゲーション力を発揮され、無事ゴールに至りました。春日井三山は私の地元でいろんなコースを何度も歩いています。いろいろな山に行くことも楽しい

ですが、一つの山を季節やコースを変え、飽きるまで歩くこともまた、楽しいのではないかと思います。私がこのコースが好きなのは、カフェモンタナがあることも一つの要因です。ランチやモーニングはもとより季節に合わせたパフェ（イチゴ、もも、シャインマスカット、栗、など）を登山中、登山後に楽しむことができるからです。支部友会の皆さん、支部友会での3年間で、仲間を作ること、写真を撮ったりや食を楽しむこと、高山植物や野生動物、登山後の反省会など、たくさんの楽しみ方を知ってください。また、今回は周回後、私の事情で古虎溪駅まで歩くことに皆さんを巻き込んでしまい申し訳ありませんでした。結果、8時間を超え、3万歩を超える行動となりました。皆さん健脚でいらっしやっただけで良かったです。

11月12日(日) ☆

山域：岐阜県 山名：納古山 (633m)  
(往路) 金山 6:45→国道 41 号線→ロックガーデン七宗 8:15 (復路) ロックガーデン七宗 12:45→日本最古の石博物館 13:05/13:35→岐清流里山公園・里山の湯 14:30/15:00→国道 41 号→金山 17:30

コースと所要時間

ロックガーデン七宗 8:25～登山口 8:55～初級ルート分岐 10:05～山頂 10:30/10:55～初級コース登山口 12:05～ロックガーデン七宗 12:45

参加者 (3名)

CL 今津 英一朗

報告：五島 健一  
会計・記録：中山 静雄

(参加者の感想)  
・支部友会に入会してから、2回目の山行参加ですが、納古山を登るのは初めて、山名すら聞いたことがなくどんな山かと、楽しみにしていました。中級コースはちょっとした岩場もあり、思ったより変化にとみ、低山ながらも山頂からの展望は 360° 天気がいまひとつだったので、遠くの山はあまりみえませんでした。初冬の晴れた時に、この山頂からの景色をまた見に来たいと思います。(中山 静雄)

・東海の 100 山、納古山へ。比較的近い山で駐車場まで下道のみでストレスなく行きました。上りは中級者コースで、7 合目付近で若干の岩場ありましたが楽しく登れました。頂上は天候も良く 360 度の景色とノコリンとの出会いを



楽しみました。(五島 健一)

<リーダーコメント>

比較的低い山ですが、眺望がよいということで人気の山です。今回少し残念でした。駐車場は林道沿いに点在して、こちらを利用すれば、1 時間程度短縮でき、昼前に下山できます。手軽ですが、中級ルート上部は少し注意が必要と思います。特に下山時はスリップ・滑落に注意が必要です。今回は、シニア男性 3 人の気楽となりましたたわいのない会話など、交流を深めることができました。

.....

11月19日(日) ☆

山域：静岡県 山名：八高山 (832m)  
(往路) 金山 7:00→東別院 IC→新東名高速→島田金谷 IC→福用駅駐車場 9:00  
(復路) 福用駅駐車場 15:10～川根温泉ふれあいの湯 15:30/16:30～島田金谷 IC～新東名高速～金山駅の名古屋市民会館 19:30

コースと所要時間

大井川鉄道の福用駅駐車場 9:15～日光神社 9:20～五輪段 10:25～馬王平 11:05～八高山・昼食 12:05/12:25～馬王平 13:15～五輪段 13:45～福用駅 15:00 歩行時間 4 時間 55 分  
参加者 (4 名)

CL 近藤 政仁 記録：五島 健一

会計：島川 桂子 報告：芝山 美智子



(参加者の感想)

・今日は初の静岡県の山へ。道のりはやや長いものの、八高山頂からの富士山は絶景でした。同行者の芝山さんの健脚ぶり、島川さんの安定感のある足取りに舌を巻き、リーダーの運の強さに感謝です。(五島 健一)  
・静岡県の山に登るなら富士山は見たいよね。登山口は大井川鉄道の福用駅、SL は見たいよね。止まることのない欲望が次から次へと吹き出されていく。それらがすべて完遂されたという素晴らしい山行でした。(芝山美智子)  
・雲一つない青空。真っ白な富士山の大展望。運良く遭遇できた大井川鉄道の SL。ルート迷いなども学びながら、ケガ・トラブルもなく和気あいあいな山行でした。(島川 桂子)



(リーダーコメント)

今回は前半私が先頭を歩き、道迷い危険箇所を説明する。その後は五島、芝山、島川さんが交代で先頭を歩いてもらいメンバーで歩く時のスピード調整や道迷い防止などを体験してもらいました。今日の歩行時間は健脚者ばかりで、標準で歩けました。また、山中で聞いたSLの汽笛を頼りに、大井川鉄道の家山駅では後ろ向きに進むSLを眺めて楽しい山行になりました。

.....

11月25日(土)☆

山城：越美山地 山名：蕪山(かぶらやま)  
(往路) 金山 6:40→名古屋高速→名神高速→東海北陸自動車道→東海環状自動車道

岐阜三輪→21世紀森公園駐車場 8:15  
(復路) 21世紀の森公園駐車場 13:15→板取川温泉 13:20/14:00→モネの池 14:20/14:30→東海環状自動車道山県IC→東海北陸自動車道→名神高速→名古屋高速→千種駅 16:10

コースと所要時間

21世紀森公園駐車場 8:30～株杉コース登山口 8:40～蕪山自然観察道分岐 9:35～奥牧谷分岐 10:50～山頂 11:00/11:15～奥牧谷分岐 11:20～自然観察道分岐 12:15～公園駐車場 13:00

歩行時間 3時間20分

参加者(3名)

CL 田中 進 会計：岡 直人 記録：五島 健一



(参加者の感想)

・本日は東海の100名山、蕪山。天候が心配でしたが、晴男？リーダーの力で山行中の天気は良好。登山口近くの株杉は一見の価値あり。また、山頂からの眺めも良かったです。山行中にクラブツーリズムの団体さんとすれ違い。人気

の高さが伺えました。(五島 健一)

・寒気の影響からか曇天模様でしたが、徐々に好天となり、山行日和でした。往路は、沢沿いで、かつ、前日の雨又は雪の影響と落ち葉から滑り易く、登りで良かったと思いました。下りは、自然散策路のルートを探りましたが、整備された道をサクサク下りました。登山道入口の「株杉」は素晴らしく必見ですし、山頂からの眺望も文句なし、テンポ良く楽しい山行でした。

(岡 直人)



<リーダーコメント>

前夜から岐阜県地方は寒波となり頂上付近に雪が残る中、天候は曇りから快晴の登山日和。メンバー3人共初めての蕪山でしたが、株杉コースは谷筋で杉林から朴ノ木の見事な樹林帯を快調なペースで頂上まで2時間半で到着し、下りは途中、自然観察道から下山1時間40分の速さで駐車場に着きました。板取川はアユ釣りの名所で、板取川温泉は露天風呂も広く良い湯です。蕪山頂上の写真を見せて200円引の得点があり500円でした。帰り道にモネの池があり観光客もたくさん来ていました。

.....

11月25日(土)☆

山城：大峰・大台ヶ原 山名：高取山(584m)  
(往路) 近鉄名古屋駅 7:30 発特急→大和八木駅 特急 9:22→橿原神宮前駅 9:32 特急→壺阪山駅 9:52(復路) 壺阪山駅 15:20→橿原神宮前駅 15:27→大和八木駅 15:39 特急近鉄名古屋駅 17:52

コースと所要時間

壺阪山駅 9:58～高取広場・礼の辻跡 10:15～砂防公園 10:35～林道終点 10:56～栢森分岐・猿石 11:26～高取城本丸跡 12:10/12:40～五百羅漢 13:22～壺阪寺 13:50～高取広場・礼の辻跡→壺阪山駅 14:55 歩行時間 4時間

参加者(7名) CL 奥野 明美 SL 中野 徳子 記録：谷畑 宏子 会計：佐藤 千景 写真：佐藤 雅弘 報告：加藤 恵美 AD 服田 康宏 (参加者の感想)

・11月は京ヶ峰に続き、奈良の高取山を訪れることになりました。関西圏の山は初めてですが

紅葉の素晴らしさにうっとり。今年は猛暑の影響で紅葉はずれと思ってましたが、なんのなんの言うことなし。史跡や名蹟など初めて知ることが多く、楽しい山行でした。(佐藤 千景)

・人生2度目の近鉄特急に乗って、奈良県にある日本三大山城の一つ「高取山」に行ってきました。寒気の影響を考慮して防寒対策をガッツリして臨みましたが、雲が多かったものの気温はさほど下がらずに晩秋の古都・奈良を満喫できました。山頂や壺阪寺では大木となったもみじの紅葉が見事でした。奥野さんがおっしゃっていた、現存または復元された城よりも城跡の方が想像力が掻き立てられる！とのお言葉にさすがだなあと思いました。私はどんな城が建っていたのかは全然想像できませんでしたが、猿石のユニークな表情だとか、土佐街道のいわれや漢方薬に関わりの深そうな風情のある街並みにワクワクしていました。(中野 徳子)

・初めて乗った近鉄の特急でレトロな壺阪山駅に降り、城下町の風情のある土佐街道をゆるやかに上って行って、野面積みの石垣の間を登っていきました。山頂の高取城跡は広く、石垣と大木と最盛期の紅葉がとても綺麗で見ごたえがありました。歩きやすい道が多く、五百羅漢や壺阪寺など見どころがたくさんだったので、友人にも勧めてまた来たいと思いました。服田さんには装備の話などをさせていただいて参考になりました。(谷畑 宏子)



・寒くなるという予報でしたが、思ったより寒くなく快適に歩くことができました。山城である高取山は、紅葉が綺麗で石垣も見事、見とれてしまいました。猿石、五百羅漢、国見櫓後からの景色、城下町など見どころがたくさんあり楽しい山行でした。(加藤 恵美)



<リーダーコメント>

山行日は、一日曇り空で5℃くらい気温が下がり冷え込むという予報でしたので、皆さんには防寒対策をお願いしましたが、良い方に予報が外れ、少し汗ばむくらいの気温の中、気持ちよく歩くことができました。例年に比べ人も少なく、紅葉もゆっくり楽しめたと思います。原型をとどめた石垣が、当時の山城の様子を偲ばせ、土佐街道沿いの古い建物が残る街並みも昔の繁栄を思い描くことができましたと思います。近鉄を使つての秋の小旅行&山行でした。

12月2日(土) ☆

山城:養老 山名:養老山(859m)小倉山(842m)三方山(739m)

(往路) JR 金山 7:23→大垣 8:08→養老 8:47 バス→養老公園 9:10 (復路) 養老公園バス 15:10→養老 15:31→大垣 15:53→金山 16:49

コースと所要時間

養老公園 9:15～養老ノ滝 9:30～三方山 10:55～小倉山 11:22～養老山 11:46～小倉山 12:14～三方山 12:42～さんぷく展望台ランチ 13:40/14:15～養老公園 15:00 歩行時間 5 時間半

参加者 (6名)

CL: 磯部 隆 記録: 芝山 美智子 会計・高橋弘美 写真: 島川 桂子 中野 徳子 花田 玲子

(参加者の感想)

・養老の滝でパワーをもらい虹に出迎えられる急登を登り始めるとまさかの雪がちらちら。絶景を期待したランチ予定の小倉山も真っ白。強風。機応変に行動でき結果とても満足な山行でした。養老のお土産&養老鉄道のラッピング電車のおまけにもみな大満足の笑顔の1日でした。(島川 桂子)



・今日は「初」尽くしでした。初養老鉄道(自転車も乗車OK)、初養老駅は大正8年の風情ある駅舎、初養老公園までの無料送迎バス。初養老の滝(神奈川県)の山北にも同名の滝がありますが)、初養老山地(三方山～小倉山～養老山・なんと雪!)、初吉備羊羹(お土産大好評)。そして、養老鉄道の車内から見えていた虹は、登山中あちこちで見え、三方山の山頂からも見え、帰りにもまた見えました。1日でこんなに何度も虹を見たのは初めてでした。帰りの養老駅では

ラッピング電車と交叉し、ラッキー続きの1日となりました。そういえば相当古い昔「風と雲と虹と」って大河ドラマがありました。今日の養老山は風と雪と虹とでした。(中野 徳子)・養老駅の瓢箪飾りからはじまった山行。駅に着く前から虹がみえそれは下山時までもみえました。紅葉をめて滝をめて後は、地図通りの急登の連続でした。パラパラと曇混じりの雨も降り始めて、寒い!ガスってる!の連続。コンパスで方向を確認しつつ足早にすすみしました。そんな天候でしたがみなさん和気あいあいと楽しい山行でした。下山道沿いで色々おしゃべりしながらお土産を買ったのもよい思い出となりました。(高橋 弘美)

<リーダーコメント>

予報では、曇りで小雨の可能性はあるが、午後からは良くなるとあった。しかし、登り始めから、風もあり、ミゾレらしきものが、パラついていて。その後、それが、雪になった。風も、場所によっては、強風となって、我々の体温を奪い始めていた。手が冷たい。さらにひどくなれば、あの時の服装では、あの養老山でさえも、登頂は、あきらめようかとさえ考えた。思うに、養老山は、高さは千メートル近くあり、この時期という事を考えれば、計画段階から、予報とは別に、雪の可能性もあるとして、服装等の準備が必要だったと、反省させられた。山行に関しては、皆さんに、交代で先頭を歩いて頂いたが、どなたもペースが、なかなか速かった。グループとしても、てきぱきとして、にぎやかで和気あいあい。皆さん、風と雪と虹と?の今回の山行を楽しまれたようだった。時間的には、余裕をもった山行ができた。雪と強風で、昼にパスしたランチは、下山した2時頃、素晴らしい紅葉を愛でながら、のんびりと食べる事が出来た。

.....

12月3日(日)☆

山城：伊船山城 山名：入道ヶ岳(905m)

コースと所要時間

金山 7:00→駐車場/椿大社登山口 8:25~北尾根

コース~大久保町分岐 9:19~避難小屋 9:50

~入道ヶ岳 11:05/11:34~二本松コース~分岐

12:10~登山口 12:50→駐車場 13:10→グリーン

ホテル入浴 14:00/15:00 → 金山 16:10

参加者(6名) CL 倉橋 智司

SL/報告：古野 敏彦 会計：五島 健一 記録/

写真：杉浦 いずみ 伊藤 めぐみ

(参加者の感想)

・参加者全員が無事安全に下山できたのが何よりですが、ひとえに山行中、メンバーの状態を

見ながら指導をいただきましたリーダーのおかげです。登り始めから登り一辺倒と、稜線に出てからは猛烈な強風で、山のコンディションとしてはベストとは言い難かったのですが、危険箇所をメンバー間で逐次声を出し共有することで、安全登山ができたと思います。(古野 敏彦)

・天候が不安視されましたが、山行中は晴天。ただし、山頂は非常に風が強く体が飛ばされそうでした。リーダーからは先頭をメンバーが交代する中で、安全かつ体力を消耗しない歩き方と地図読みをレクチャー頂き大変参考になりました。

(五島 健一)

・初めての支部友山行でしたが、和気あいあいとして雰囲気も良く、楽しい山行になりました。今までの登山は自己流で、地図は見ながら登ってはいたものの、コンパスの使い方、地図読み、あとは、下り時よく滑るのですが、それも歩き方の改善方法を教えていただき大変参考になりました。(伊藤 めぐみ)

・今回入道が岳の山行に参加させていただき、鈴鹿セブンマウンテン制覇の目標に一步近づける事ができて嬉しいです。鈴鹿セブンの山はなぜかとても落ち着くというか好きです。最近友人たちと色々な山に登る機会が増え楽しく登っていましたが、果たして自分は少しでも進歩しているのか?という疑問がありました。今回はしっかり歩き方を教えて頂き、例えば意識して小股で歩いているつもりでいたけれどまだまだ大股で歩いていた!という事も分かりとても勉強になりました。(杉浦 いずみ)

<リーダーコメント>

登り下りの登山道は、ほぼ風が無い状態でも頂上付近は強風と、この山城の典型的な天候でした。幸いこの日は好天でしたので、頂上以外の衣服調整は少なく済みましたが、状況によって、(冬場は特に)低体温症の危険がある事を感じました。地図読みで進行方向、現在位置を確認しながら、又、危険箇所を共有したり、状況に応じた歩き方(ぬかるんだ道、急登等)、足の置き場を選択しながら歩行でき、転倒等もなく、無事に下山できました。蛇足ですが、このコースは、登り広葉樹と下り針葉樹で植生が全く違う事に気がきました。風の弱い山城に針葉樹・杉を植える事で真っすぐ育てる為か。



## 令和6年4月～6月の山行計画!

<メールで携帯からはSMSで山行リーダーにお申込み下さい。>

- ・申し込み開始は 山行日の3か月前から、優先は1ヶ月その後支部員も申し込み可、月に原則2山行までとします。
- ・山行日・山名・会員番号・氏名・住所・電話(携帯電話)・生年月日・血液型・加入保険名・緊急連絡先(その関係)

### ☆山行グレード

- ☆ 1日の累計標高差(登り) 600m以内、歩行時間4時間程度の山
- ☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m以内、歩行時間6時間程度の山
- ☆☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m超過、歩行時間6時間超過の山

### リーダー連絡先

尾上 昇	onoe@onoe.co.jp 090-1741-4926
金谷 正起	kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp 090-9931-3600
榊 将美	m.sakaki@minds-consulting.jp 090-7237-4410
松本 陽子	yo-kom@nifty.com 090-7859-4031
田中 進	t-susumu@peace.ocn.ne.jp 090-9191-8666
磯部 隆	takass@yk.commufa.jp 090-9180-7245
高松 信治	takama2nobu3@yk.commufa.jp 090-3156-5268
今津 英一朗	imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp 090-2616-7549
村瀬 恭平	hoshizakari@docomo.ne.jp 090-4186-9876
近藤 政仁	vft55ud55@gmail.com 090-2183-8125
倉橋 智司	ilyt6by8@qc.commufa.jp 090-8673-7180
奥野 明美	tac-okuno@mbi.nifty.com 090-9923-4292
池戸 美恵	noboruonna@icloud.com 090-1294-0415
川崎 禎明	y.kawa715@gmail.com 090-2131-7695
久野 輝美	kuno4895@hotmail.com 090-7575-4521
林 康太郎	koutaropippi@gmail.com 090-2949-0544

4月6日(土) ☆ 募集開始1月6日  
山城: 渥美半島 山名: 大山(328m)雨乞山(233m)  
ルート: 石神登山口～雨乞山物見山～狼煙山～大山～登山口 歩行時間: 約4時間

集合: JR 金山駅 7:00 又は豊橋駅 8:10  
豊鉄バス本線 伊良湖、保見行 9:30 乗車  
参加費: 交通費実費 約3,000円  
リーダー: 田中 進 募集: 8名 雨天: 中止  
ポイント: 三河湾の眺望、渥美半島縦断。

4月7日(日) ☆☆ 募集開始1月7日  
山城: 各務原市 山名: 城山・明王山・八木山  
ルート: JR 坂祝駅～城山～明王山～八木山～名鉄鶴沼宿駅

歩行時間: 約6時間 交通: JR 及び名鉄  
集合: 名鉄名古屋駅 中央改札口前  
時間: 午前7:15 参加費: 約2,000円  
リーダー: 磯部 隆 募集: 5名 雨天: 中止  
ポイント: 低山ながらアップダウンの多い尾根歩きが続き、歩きでは、十分ある。

4月13日(土) ☆ 募集開始1月13日  
山城: 京都東山 山名: 大文字山(465m)  
ルート: 蹴上～日向大神宮～大文字山～火床頂上～霊鑑寺～蹴上 歩行時間: 4時間

集合: 日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間: 午前6:30 自家用車 参加費: 実費  
リーダー: 村瀬 恭平 募集: 3名 雨天: 中止  
ポイント: 蹴上から大文字山へ火床頂上から哲学の道へ

4月13日(土) ☆☆ 募集開始1月13日  
山城: 奥三河 山名: 湯谷富士  
ルート: 湯谷温泉～湯谷富士～サイコロ岩～湯谷温泉 歩行時間: 約4時間

集合: 金山総合駅 JR 改札前  
時間: 午前7:00 交通: JR  
参加費: 約2,500円 募集: 7名  
リーダー: 林 康太郎 雨天: 中止  
ポイント: 急登、岩稜、ルートファインディング

4月14日(日) ☆☆ 募集開始1月14日  
山城: 鈴鹿山脈 山名: 竜ヶ岳(1,099m)  
ルート: 宇賀溪～金山尾根～遠足尾根分岐～竜ヶ岳～遠足尾根分岐～宇賀溪

歩行時間: 6時間10分  
集合: 金山駅市民会館南側道路  
時間: 午前7:00 出発 交通: マイカー  
参加費: 3,000円 募集: 4名  
リーダー: 今津 英一朗 雨天: 中止  
ポイント: 金山尾根を上り、遠足尾根下ります。



広い山頂で360度の眺望が楽しめます。  
.....

**4月20日(土) ☆☆** 募集開始1月20日  
山城：木曾谷・木曾山地 山名：**風越山 (1,699m)**  
ルート：鷹鳥屋登山口～カヤト分岐～風越山～展望台～風越山～カヤト分岐～オオマキ～登山口  
歩行時間：4時間  
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前7:00 出発 交通：マイカー  
参加費：約3,500円 募集：3名  
リーダー：**高松 信治** 雨天：中止  
ポイント：木曾八景「風越の晴嵐」と謳われた山に登り、バイクオウレンや眺望を楽しみます。  
.....

**5月1日(水) ☆** 募集開始2月1日  
山城：伊那山地・山名：**戸倉山 (1,681m)**  
ルート：戸倉山キャンプ場～戸倉山避難小屋～戸倉山～往復  
所要時間：6時間40分  
時間：午前6:30 出発 交通：レンタカー  
集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店  
参加費：約4,000円 募集7名  
リーダー：**川崎 禎明** 雨天：中止  
ポイント：伊那富士と呼ばれる名山  
.....

**5月11日(土) ☆** 募集開始2月11日  
山城：飛騨木曾川公園 山名：**継鹿尾山 (272m)・鳩吹山 (313m)**  
ルート：不老滝→大平山→石原登山口→西山→鳩吹山→継鹿尾山→寂光院 歩行時間：約6時間  
集合：名鉄犬山遊園東口  
時間：午前7:00 出発 交通：公共交通機関  
参加費：各自実費 募集：5名  
リーダー：**村瀬 恭平** 雨天：中止  
ポイント：大平山ルートから鳩吹山を経由して寂光院への周回コース  
.....

**5月11日(土) ☆☆** 募集開始2月11日  
山城：奥三河 山名：**岩古谷山**  
ルート：和市～堤石峠～岩古谷山～ミヨジ峠～御殿岩～びわくぼ峠～塩津～和市  
歩行時間：約6時間  
集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店  
時間：午前：00 出発 交通：レンタカー  
参加費：約3,500円 募集：7名  
リーダー：**林 康太郎** 雨天：中止  
ポイント：急登、岩稜、ルートファインディング  
.....

**5月18日(土) ☆** 募集開始2月18日  
山城：名張市 山名：**赤目 48滝・長坂山 (585m)**  
ルート：赤目滝バス停⑨サンショウウオセンター

～百畳岩～巖窟滝～百畳岩1～長坂山/昼食～下山口～駐車場  
歩行時間：約4時間  
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前7:00 出発 交通：マイカー2台  
参加費：約3,500円  
リーダー：**田中 進** 募集：7名 雨天：中止  
ポイント：新緑の溪谷と長坂山トレッキング。  
.....

**5月26日(日) ☆☆** 募集開始2月26日  
山城：越美山地 山名：**三周ヶ岳 (1,292m)**  
ルート：夜叉ヶ池登山口～夜叉ヶ池山～三周ヶ岳往復  
歩行時間：約5時間30分  
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前6:30 出発 交通：マイカー  
参加費：3000円 募集：3名  
リーダー：**今津 英一朗** 雨天：中止  
ポイント：初夏の奥美濃、藪漕ぎあり  
.....

**5月26日(日) ☆☆** 募集開始2月26日  
山城：福井県 山名：**荒島岳 (1,523m)**  
ルート：勝原スキー場跡～広場～シャクナゲ平～荒島岳 (ピストン、三点支持)  
歩行時間：5時間50分  
集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路  
時間：午前6:30 交通：マイカー  
参加費：実費 募集：3名  
リーダー：**近藤 政仁** 雨天：中止  
ポイント：桜咲くスキー場跡地から登り、荒島岳山頂から白山を眺める。  
.....

**6月1・2日(土・日) ☆** 募集開始3月1日  
山城：中国山地中部  
山名：**伯耆大山 (弥山) (1,709m)**  
ルート：夏山登山コース登山口～6合目避難小屋～弥山～6合目避難小屋～行者コース～元谷避難小屋～大山寺 歩行時間：約7時間  
時間：午前9:00 出発  
集合：ジャパンレンタカー名古屋駅前北店  
交通：レンタカー 参加費：約25,000円  
募集5名  
リーダー：**川崎 禎明** 雨天：中止  
\*7日から宿泊のキャンセル料4,950円発生  
ポイント：夏山開きの前夜祭たいまつ行列に参加  
.....

**6月8・9日(土・日) ☆** 募集開始3月8日  
山城：北八ヶ岳 山名：**北横岳/南峰 (2,472m)・縞枯山 (2,403m)・茶臼山 (2,383m)**  
ルート：麦草峠～大石峠～縞枯山～雨池峠～山頂駅～五辻～出逢いの辻～狭霧苑地～麦草峠  
歩行時間：6時間30分

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前 7:00 出発 交通：マイカー

参加費：約 18,000 円 募集：4 名

リーダー：村瀬 恭平 雨天：少雨の場合は実施

ポイント：麦草ヒュッテに宿してゆっくりと歩く  
.....

**6月8日(土)☆☆ 募集開始3月8日**

山域：木曾谷 山名：**南木曾岳(1,679m)**

ルート：蘭駐車場～登りルート～南木曾岳～下りルート～蘭駐車場 歩行時間：約5時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前 7:00 交通：マイカー

参加費：約 3,500 円 募集：3 名

リーダー：林 康太郎 雨天：中止

ポイント：中央アルプスの景色を楽しむ  
.....

**6月16日(日)☆ 募集開始3月16日**

山域：奥美濃 山名：**銚子ヶ峰(1,810m)**

ルート：登山口～石徹白大杉～おたけり坂取付～神鳩ノ宮避難小屋～母御石～銚子ヶ峰 往復歩行時間：5時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前 7:00 出発 交通：マイカー

参加費：約 3,500 円 募集：3 名

リーダー：高松 信治 雨天：中止

ポイント：雄大な石徹白大杉を楽しみ、新緑の美濃禅定道をたどり銚子ヶ峰に登ります。  
.....

**6月22日(土)☆ 募集開始3月22日**

山域：養老山地 山名：**石津御嶽(629m)、多度山(403m)**

ルート：石津～石津御嶽～美濃松山～多度山～多度山 歩行時間：約6時間

集合：JR 金山駅 中央改札口

時間：午前 7:15 参加費：約 2,000 円

交通：JR&養老線

募集：5 名

リーダー：磯部 隆 募集：5 名 雨天：中止

ポイント：低山の縦走で、距離はある。天気が良ければ、稜線からの眺めの良さは、素晴らしい。  
.....

「報告」第 60 回支部友会・朝明ミーティング  
10月14日(土) 15日(日)

**14日(土) 分散登山**

登山学校は指導員 8 名と支部友会員 15 名が 3 チームに分かれ、学校に所属しない 14 名の支部友会員は委員 8 名と 4 チームに分かれて登山。

**第 1 パーティ (5 名) 御在所岳(1,212m)**

**CL 高松 信治** SL 林 康太郎 鈴木 良明 古野 敏彦 花田 玲子

**コースと所要時間**

中道登山口 8:31～おぼれ岩 9:02～キレット 9:35～富士見岩 10:41～朝陽台 10:47/11:38～富士見岩～キレット 12:36/13:06～おぼれ岩 13:26～中道登山口 13:51



・大人気の山であるため駐車場確保が懸念されたが、SL の機転もあり無事に駐車できた。とはいえ東名阪の渋滞などにより現地着が遅れた。また、午後 3 時頃には雨になる予報であったため、今回は山頂を割愛し、朝陽台(ロープウェイ側の山頂)で折り返すこととして出発した。参加者の足がそろい比較的早い進捗であったため、朝陽台や下りのキレットでゆったりと休憩をとることができた。グループでペースを守って歩く方法や、地図の見方、クサリ場通過時のクサリのもち方の注意など余裕を持って説明しながら登山することが出来た。  
(CL 高松 信治)

**第 2 パーティ (4 名) 鈴鹿の上高地**

**CL 金谷 正起** SL 倉橋 智司 田中 智子 杉浦 いずみ

### コースと所要時間

朝明駐車場 8:30～根の平峠 10:06～タケ谷分岐  
 10:32～タケ谷出合 11:07～鈴鹿の上高地 11:10  
 カツラの木/昼食 12:20～千種街道出合 12:44～根  
 の平峠 13:35～朝明駐車場 14:50

・私の大好きな森は何度訪れても美しく優しい。  
 昔誰が名付けたか明神池、田代池を探してゆっく  
 り歩くことが出来ました。ノンビリし過ぎました  
 がこんな山行もたまには宜しいのではないでし  
 ょうか。 (CL 金谷 正起)

### 第3パーティ (6名) 水晶岳 (954m)

CL 榊 将美 SL 池戸 美恵 浦野 恵美子  
 山田 卓 中村 慎吾 大蔵 和代 佐橋 章嘉

### コースと所要時間

朝明茶屋 8:20～中峠分岐 8:50～曙滝 9:25～中峠  
 10:13/10:30～水晶岳 11:05～根の平峠 11:45～伊  
 勢谷分岐 12:30～朝明茶屋 13:15



・今回の山行は「自立した登山者を目指す」を意  
 識しました。皆さん謙虚に耳を傾け、積極的に実  
 践していただきました。ついて行くだけの山行か  
 ら積極的に関与する山行へ意識を切り替えてく  
 ださい。よく“山行は三回行う”といわれます。  
 日く①事前に地形図で所要時間等を机上登山す  
 る。②現地で地形・地質や植生、展望等を感じる  
 登山をする。また計画との差異を考える。③帰宅  
 後、山行を振り返り記録に残す。この繰り返しで  
 実力がついていきます。山の楽しみ方は沢山あ  
 ります。毎回テーマを持って山行すると奥行きが  
 広がります。 (CL 榊 将美)

### 第4パーティ (6名) ハライド・ブナ清水

CL 久野 輝美 SL 川崎 禎明 中野 徳子

佐治 真吾 佐治 恵 五島 健一 井波 隆

### コースと所要時間

朝明茶屋キャンプ場 8:05～ハライド山頂 9:15～  
 腰越峠 9:40～ブナ清水 10:55 / 11:15～ 千種街道  
 出合 11:36～朝明茶屋 12:40



・今回、初めての参加で支部友の面識のない人と  
 共にする初めての山行でした。私の準備・認識不  
 足による反省点の多い山行となってしまいました。  
 最も大きな反省点は、事前にメンバーの持ち  
 物について念押しと確認をしなかったことです。  
 地図、コンパス、行動食、非常装備、水など、こ  
 れらに不十分な複数のメンバーがおり、したがっ  
 て天気も下り坂の状況で安全のため山行をなる  
 べく短時間で終えることを主眼とせざるを得ま  
 せんでした。読図とか地形・植生などの説明を端  
 折ってしまいメンバーには、山の楽しさを伝えら  
 れずただ歩いたという結果になってしまったこ  
 とに申し訳なく思っています。今後は事前の意識  
 合わせが必要と感じました。 (CL 久野 輝美)

### 17:00～キャンプファイヤー



皆さん分散登山を終え4時には全員揃い夕食  
 の準備を始めた所で、夕方雨の予報でキャンプ

の準備を始めた所で、夕方雨の予報で**キャンプファイヤー**を先に開催しました。今年も新人会の皆さんが鈴鹿の山から下りて来た「**山の神**」から火を受け継ぎ焚火に点火して始まりました。

予報通り雨が降り出し大屋根の下のバーベキュー会場に早々に移動しました。

17:30 ～夕食（BBQ）

55名の食材は田中、中島、今津の車3台で服田、川崎、奥野、林、澤田、近藤の食事班9人によって運ばれて来ました。

<前菜> サラダバーと枝豆お酒のつまみを用意、  
<BBQ> 豚ネギ串、鶏モモ串、ソーセージ 牛肉 エビ イカ 野菜 <キーマカレー>も大好評な料理。  
<飲み物> 缶ビール 500mm 72本  
ワイン、ウイスキー、焼酎 他 差し入れ。

**金谷委員長**の乾杯の音頭でBBQ大会が始まりました。



15日（日）7:00～ 朝食

7:45～ 我が登山人生 講師:高橋玲司支部長  
自身の登山人生と東海支部のお話をされました。



8:00～9:30 座学 講師:尾上昇氏  
「リーダーシップとメンバーシップ」

理想のリーダー像とは・  
リーダーは必ず一人でなくてはならない。但しサブリーダーをあらかじめ決めておく、リーダーが能力不能に陥ったら誰が指揮を取るのか・・・



バイオリン勅使河原、ギター田中の演奏で山の歌を始めましたが、誰も聞かず歌わず、食べて飲むことに夢中でした。楽しいアトラクションのジャンケンゲームで勝った人は景品プレゼントを受け取りこちらは大いに盛り上がり21時に終了しました。

講師の熱弁に眠たい目を懸命に開けていた皆さんは何度も頷いていました。



**10：00～11:00 ファーストエイド講習**

登山中での、骨折・怪我・虫刺されなどに対する対処方・応急処置等実践を通して体験・見学して頂きました。

講師：菰野消防署署員、四日市西警察署員 2名



**12：00～14：50**

**演習「一般登山道で役立つロープワーク」**

ガレ場やザレ場、ちょっとした岩場、急なガケなどで補助ロープが欲しい時のセルフビレイの方法や危険地帯をロープを使って安全に通過する方法を演習。講師：榎 将美 助手：池戸 美恵 久野 輝美 参加者 12名



**12：00～14:00 演習「ツェルトの張り方」**

ツェルト利用時は単に被るだけではなく張ることの意味を説明した後張り方を、ストック、細引き使用して（4～5m 2本）実際に張っていただきました。参加者 8名

講師：高松 信治 助手：中島 美枝



**第61回 12月12日(火) 19：00～21：00  
「支部友会忘年会・新入会員歓迎会」**

レストランリビエール（セントヒサヤビル 11F）

参加者：42名（支部友会員 19名 支部員 23名）

司会：磯部 隆 受付：林 中島 奥野

高橋支部長（兼支部友会会長）の開会挨拶に続き、服田登山学校運営委員長の乾杯で始まった忘年会は、2023年の新入会員の歓迎会も兼ね、支部友会員や登山学校の指導員ともテーブルを囲み山の思い出、新しい年の抱負を語り親睦を深めました。事前に乾杯のビールは用意しましたので、ワイン、日本酒、ウイスキー他沢山のアルコールで残る程でした。





今回は川崎明子さんをお願いして登山学校や支部員が交代で舞台上で、ギター田中・バイオリン磯部、勅使河原の伴奏で山の歌を歌いました。



最後に金谷委員長の占めの挨拶で閉会、皆さん来年の安全で楽しい山行を誓い合いました。



恒例の尾上氏の「ジグリー」指導もあり、最後にクリスマスソングの合唱で宴会は大いに盛り上がり、美味しい料理と沢山の差し入れアルコールで皆さん大満足でした。

### 支部友ミーティング

19:00~21:00 支部ルーム

「予定」第62回 2月13日(火)

テーマ:「鈴鹿の最新山岳遭難の現状」

講師:小古 真也 氏(日本山岳会東海支部員)

「予定」第63回 4月16日(火)

テーマ:「2024 夏山への誘い」

講師:各山行リーダーが夏山コースを説明します。

**\*支部友会員数\*** 令和5年11月末現在 **66名**  
 <新入会者10月~ 2名>

52075 花田彰紀 52076 伊藤めぐみ



### \*編集後記\*

支部友会だよりは2013年1月60号が最終号でした。1年間のブランクを経て、2014年4月61号を発行、今回で100号記念号となりました。令和2年95号から表紙をカラーにして委員持ち回りの山行写真とエッセイを掲載しています。山行リーダーは本年もバラエティーに富んだ山々を計画し皆さんの参加をお待ちしています。

支部友会事務所連絡先 〒460-0014

名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル

B-1 東海支部内

<http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php>

電話:052-332-8363 FAX052-322-7924

編集責任者(田中進 090-9191-8666)

